

LINEとヤフー、検索事業における連携を強化 ユーザーの検索体験向上のため「LINE Search」web検索を「Yahoo!検索」へ切り替え

LINE株式会社

ヤフー株式会社

～ 6月下旬より、「ニュースタブ」上部の検索窓などが対象 ～

LINE株式会社（以下、LINE）とヤフー株式会社（以下、Yahoo! JAPAN）は、検索事業における連携を強化し、2023年6月下旬より「LINE Search」のweb検索を「Yahoo!検索」に切り替えることで、さらなるユーザー体験の向上を実現します。LINEおよびYahoo! JAPANは、グループシナジーの最大化を通じ、一層の利便性の向上を目指します。

LINE YAHOO!
JAPAN

「LINE」アプリから
「Yahoo!検索」が
できるようになります！



「LINE Search」は、2018年2月から「LINE」アプリの「ニュースタブ」で提供していた検索機能を、2019年6月に「LINE Search」としてアップデートし提供したものです。「LINE Search」では、LINEスタンプ、着せかえ、LINE公式アカウント、オープンチャット、友だちやトークといった「LINE」アプリ内のコンテンツの検索やweb検索が可能です。

一方「Yahoo!検索」は、Yahoo! JAPANにおける主要サービスの一つであり、日本のユーザーのあらゆる「知りたい」に応え、生活をより便利で豊かにする情報をわかりやすく提供しています。

このたび、LINEとYahoo! JAPANは、検索におけるユーザー体験のさらなる向上を実現するために、検索事業における連携を強化することを決定しました。具体的には、2023年6月下旬より「LINE Search」におけるweb検索を「Yahoo!検索」に切り替えることで、検索結果の品質をさらに向上し、今まで以上に、日々の暮らしの疑問や課題の解決など、便利で利用しやすい環

境を整えます。

■「LINE」アプリから「Yahoo!検索」を通して、日本ならではの検索体験を提供

このたびの切り替えでは、「LINE」アプリを起動したまま手軽に「Yahoo!検索」を通じたweb検索が可能になります。

「Yahoo!検索」では、ユーザーの検索体験がより良いものとなるように、様々な工夫を行っています。例えば、ショッピングモールなどの「施設名」で検索すると、当該施設の一般的な情報に加え、“混雑予報”や“クチコミ情報”などをまとめて確認することができます。また「飲食店名」や「東京 ラーメン」などと検索すると、お店の名前や場所だけではなく、“メニュー”や“クチコミ情報”などが確認できるため、よりユーザーの好みや目的に応じた情報に容易にたどり着くことができます。さらにスポーツイベントや選挙など、日本国民が注目するイベントの開催に合わせて“日程・速報・結果”などをわかりやすく掲載したり、“台風”“地震”“津波”“河川氾濫”などの災害時や感染症などの有事の際は、国や自治体による信頼できる情報を、より見やすい検索結果として提供しています。またユーザーが気になる「人物名」や「作品名」で検索すると、“基本情報”から“テレビ番組出演情報”のような最新の情報まで様々な情報をまとめて確認できるなど、日本にお住まいのユーザーにより便利で快適な検索体験を提供しています。今回の連携強化によって「LINE」アプリを利用しているユーザーも、より手軽に「Yahoo!検索」を活用した快適な検索を体験することができます。

なお、LINEスタンプ、着せかえ、LINE公式アカウント、オープンチャット、友だちやトークなどの「LINE」アプリ内コンテンツは、「ホームタブ」または「トークタブ」上部の検索窓から引き続き検索することが可能です。

※「Yahoo!検索」への遷移機能はLINE ver13.9.0以降で利用可能です。

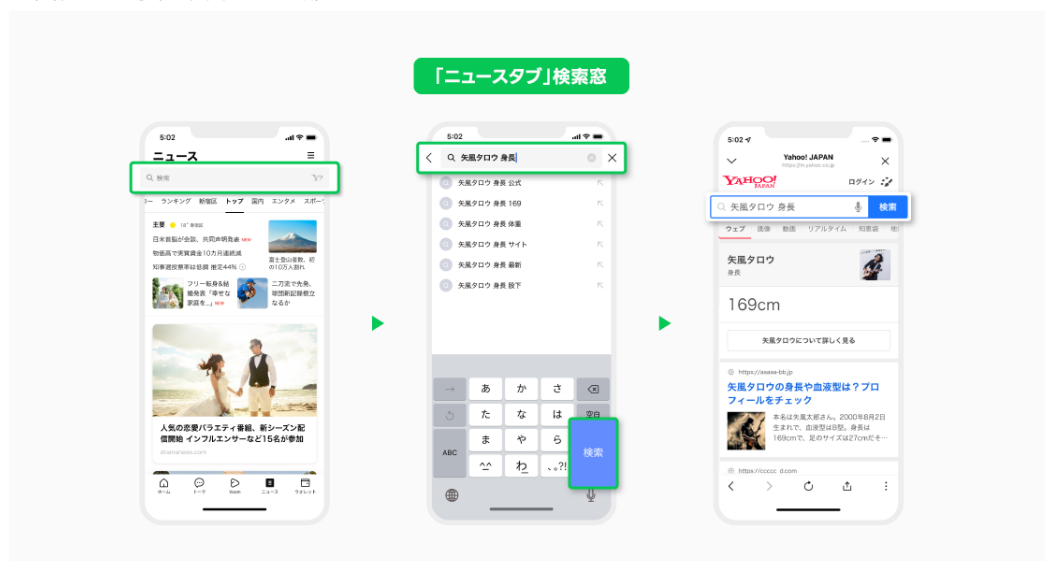
※「Yahoo!検索」の利用に当たってはYahoo! JAPAN利用規約（<https://about.yahoo.co.jp/common/terms/>）が適用されます。

※「LINE Search」におけるweb検索は、6月下旬以降すべて「Yahoo!検索」に切り替わります。なお、「LINE Search」におけるweb検索のうち、「Yahoo!検索」への切り替え対象以外の機能（「ホーム」タブで検索した際の、検索結果最下部にある「その他を見る」ボタンからの検索など）は提供を終了します。

<対象の検索箇所例>

- ・「ニュースタブ」の検索窓
- ・記事の文中に差し込まれているリンク
- ・LINE NEWS ウィジェットからの検索

※画像は対象検索箇所の一部です。



文中リンク検索



ウィジェット検索



LINEとYahoo! JAPANは、今後も様々なサービス・機能においてシナジーを最大化することを目指していきます。